



公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38 TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256 E-mail info@hamt.or.jp
編集委員 住ノ江 功夫 / 西田 純子 / 大塚 淳平 / 田中 祐紀子 / 湊 宏美 / 黒木 知佳 / 森川 貴道 / 高田 稜雅 / 忍海邊 康祐 / 岡村 大輔 / 西村 崇弘 / 藤原 淳美
臨床検査情報センター URL http://www.hamt.or.jp

CONTENTS	会長就任・瑞宝双光章受章のごあいさつ、令和6年度(2024年度)定時総会開催されました ……	1
	兵臨技功労賞を受賞して、学術奨励賞を受賞して、兵庫県医学検査学会優秀演題賞を受賞して、 第44回丹但地区研究発表会・第11回市民公開講座、#化学免疫検査研究班 ……	2~3
	[第3回] 突撃! とんりの検査室(加古川中央市民病院) ……	4
	会員グルメ情報 ……	5



会長就任・瑞宝双光章受章のごあいさつ

松田 武史 会員 (神鋼記念病院)

このたび、令和6年度兵庫県臨床検査技師会 定時総会にてご承認いただき会長に就任することとなりました。医療情勢の厳しい中、技師会の舵取りを行うことに責任の重さを痛感しているところであります。

2020年からの4年間、新型コロナウイルス感染症の影響によりPCR検査等に忙殺された中、医療機能を維持するためにスタッフ一丸となって頑張ってきたかと思えます。しかしながら、医療機関においては損益も非常に厳しい状況が続いているにも関わらず、物価や人件費も高騰しています。そのような中にあっても時代の流れは止めることは出来ません。医療における臨床検査技師の地位向上ならびに県民の皆様へより良い医療の提供に繋がるような技師会活動を進めて参りますので、会員の皆様のご支援をお願いいたします。

またこの度、甚だ僭越では御座いますが、令和6年春の叙勲にて瑞宝双光章を受章いたしました。皆様には心より感謝申し上げます。早いもので、管理運営研究班員を務めさせていただいてから、30年近く技師会に携わらせていただき今日を迎えることとなりました。その間、非常に多くの諸先輩方にご指導いただき、また、数多くの技師や企業の方々と交流を持てたことはかけがえのない私の財産となっております。ある意味、社会人としても兵臨技に育てていただいたといっても過言ではありません。もちろん、勤務している職場のスタッフや関係者各位の皆様からのご支援の賜物かと存じます。今後とも国や社会に対し責任を持って尽力してまいりますので引き続きのご支援とご指導をお願いいたします。



令和6年度(2024年度)定時総会開催されました

令和6年6月8日兵臨技研修センターにおいて定時総会が開催され、審議の結果すべての議案が承認されました。

〔審議経過〕

総会議長に小松敏也会員(宝塚市立病院)、書記に大藪智奈美会員(神戸大学医学部附属病院)が選出され、総会の資格審査では当日出席32名、委任状出席者358名、議決権行使者数948名、合計1338名(出席率52.1%)で会員の過半数の出席を得て、定款第4章17条より総会が成立し、議案審議が開始されました。

〔第1号議案：令和5年度決算報告・監査報告〕

竹川経理部長より貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記、財産目録について決算報告が行われました。また、東塚監事・笠舞監事より、事業および会計処理が適切に行われているとの監査報告がなされました。

〔第2号議案：令和6・7年度 理事及び監事選任〕

令和6・7年度 理事及び監事選任について、各候補者1名ずつ選任の可否を諮ったところ、いずれの候補者についても出席した正会員の議決権の過半数の賛成をもって選任が可決されました。

我々臨床検査技師は今後も様々な方面での活躍が期待されています。今後の活動を進めていくためには、会員および賛助会員の皆様をはじめ、兵庫県、医療職団体所属の皆様のお力添えが欠かせません。今後とも、技師会活動にご理解いただき、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。





兵臨技功労賞を受賞して

小松 敏也 会員 (宝塚市立病院)

何気なく毎日を過ごしているある日、大崎組織部長から「今年の兵臨技功労賞に推挙されました」との連絡を頂きました。「間違いでしょ?」と思ったのですが、漸く理解致しました。恐縮と共に何か、恥ずかしいやら、照れくさいやら、そんな気持ちでした。兎も角、何方か「今年は小松で!」と仰っていただき、各位で承認頂けた事に感謝致します。加えて私の受賞理由の一つ「広報活動」をご指導下さった鳥居元広報部長、ご協力頂きました歴代広報委員の皆様、支えて下さった事務局庶務の皆様にご心より御礼申し上げます。有難うございました。

兵臨技では定時総会を終え、新たな活動が始まりました。同時に広報部では住ノ江広報部長を中心に、新体制で活動開始となりました。会員の皆様には変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。この度は誠に有難うございました。



左:真田 浩一前会長 右:小松 敏也 会員



学術奨励賞を受賞して

山本 義徳 会員 (北播磨総合医療センター)

この度は学術奨励賞という名誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。

思い返してみますと平成8年から生理研究班に班員として入り、平成28年から今年3月までの4期8年間にわたって研究班の班長を務めさせていただきました。学術活動に28年間携わっていた事に自分でも驚いております。この間に歴代の会長をはじめ理事の皆様、歴代の生理研究班の班長ならびに班員の皆様にご支えていただきながら無事責務を果たすことが出来ました。これまで御指導、御協力をいただきました全ての皆様に、この場を借りて深く感謝申し上げます。

今後もこの賞に恥じぬよう実践と教育に精進していきたいと思っております。

この度の受賞について重ねて深く御礼を申し上げます。



左:真田 浩一前会長 右:山本 義徳 会員



兵庫県医学検査学会優秀演題賞を受賞して 藤原 由梨 会員 (兵庫県立西宮病院)

この度は、優秀演題賞に選出していただき、大変光栄に思います。本演題では、当院で使用しております分注ホルマリン管理システムについて、使用方法に加え、未提出検体や未返却を早期に見つけることや、記載漏れや計算ミスによる確認作業が大幅に軽減されることなど日常業務の話も踏まえながら、お話をさせていただきました。分注ホルマリン管理システムを兵庫県臨床検査技師会の皆様にご知っていただける良い機会となりました。今回の受賞を励みに、より一層精進して参りたいと思います。



藤原 由梨 会員

組織

第44回丹但地区研究発表会・第11回市民公開講座を開催して

濱 靖 会員 (組織部理事)

令和6年度 第44回丹但地区研究発表会・第11回市民公開講座をJAたじま和田山の会議室にて開催しました。年度替わり最初の企画で、地域性を鑑みWeb併用のハイブリッド開催を企画しました。これまで各病院施設を借りての開催としてきましたが、今回は午後から市民公開講座を開催することで集客力のUPに繋げたく民間(スーパーマーケット併設)の会議室をお借りしました。

事前準備よりこれまではない想定外の事態に見舞われましたが、無事終了出来たこと、関係者のご協力に感謝いたします。また、ネットワークの環境不備が数回ありましたことをWeb参加者各位にお詫び申し上げます。

第44回丹但地区研究発表会は、6演題(生理検査2題、微生物検査1題、検体検査2題、タスクシフト1題)とも、各分野興味をそそる発表であった事に演者の皆さんに感謝いたします。

今回は、少なめの演題数ではありましたが、その分不測の事態にも対処でき、また多くの質疑に時間をとり、十分な意見交換ができたことが成果ではないかと思っております。

世間では、対面式の研修会に移行している最中ではありますが、地域性を鑑みて、今後もWeb開催を併用する運営を考えたいかなければならないと思っております。

午後からは第11回市民公開講座を開催しました。CATVの協力のもと事前告知を行いました。当日の悪天候等の影響もあったのか一般の集客が少なく残念でなりません。

公立八鹿病院院長、西村正樹先生をお招きし「アルツハイマー病におけるアミロイド診断の意義」としてご講演いただきました。講演内容は技師会員向けに構成されており、一般の方には少し難しい内容であったと思います。アルツハイマー病のメカニズムから予防方法まで丁寧にご講演いただきました。市民公開講座を開催するにあたり、事前告知、演題内容、天候と、集客を行う上で色々な課題があることに気が付き、次回の開催に繋がりたいと思います。



第44回丹但地区研究発表会・第11回丹但地区市民公開講座に参加して

西村 崇弘 会員 (公立豊岡病院)



松田 武史会長



演 靖理事

第44回丹但地区研修会が和田山のJAたじまで開催されました。今回自らも発表者であるということもあり緊張していましたが、大変貴重な時間を過ごすことが出来ました。

午前、各病院からの一般演題がありました。稀な疾患・病態に対するアプローチや、タスク・シフト/シェア後の業務など興味深い発表ばかりでした。自分の発表を前に緊張し

ていましたが、それ以上に引き込まれる内容でした。

午後は、公立八鹿病院院長の西村正樹先生による市民公開講座がありました。「アルツハイマー病についてのアミロイド診断の意義」という講演で、高齢化が進む但馬丹波地区で非常に重要度の高い疾患における講演でした。

発表会に現地参加していたため、他院の方と発表内容の話し合いや他愛のない会話等で交流を持つよい機会であったと思います。

今回発表者という立場でしたが、講演を聞くことで自分の知見を広げ、深めていけるので今後ぜひ参加させていただきたいと思います。



#研究班

渡邊 勇気 会員 (化学免疫検査研究班 班長)

#化学免疫検査研究班の渡邊です。

みなさん、「標準化」や「ハーモナイゼーション」といった言葉を聞いてどんなことが思い浮かびますか。臨床化学や免疫血清学分野では、測定装置や測定試薬の性能が良くなってきたこともあり、多くの項目で標準化が進められてきました。最近の大きなイベントとしては、ALP・LDの国際標準化やTSHのハーモナイゼーションが挙げられます。もう少しさかのぼると、共用基準範囲の設定…といったことも含まれると思います。しかし、これだけ検査技術が進んだ現在でもまだ標準化ができていない項目があり、臨床化学会を中心に標準化に関するさまざまなプロジェクトが進行中です。今回は、最近話題になっている「血清情報の標準化」と「AST・ALTの国際標準化」について紹介します。

まず、「血清情報の標準化」について。血清情報とは、血清の外観を表す「乳び・溶血・黄色度」の3つのことで、目視することで、ある程度の度合いはわかりますが、生化学自動分析装置にはそれらを測定する機能が備わっています。それを利用して臨床へ報告している施設もあると思いますが、その報告方法については、各施設に委ねられているため、標準化が課題となっています。

次に「AST・ALTの国際標準化」について。酵素項目において、IFCC (国際臨床化学連合) とJSCC (日本臨床化学会) では、測定原理の違いにより反応性が異なる項目があります。たとえば、ALPでは値が1/3となったり、LDはアイソザイムの反応性に違いがあったりしました。検査室は、変更による影響について理解し、診療科の混乱を最小限にするための対応をしなければいけません。現段階ではASTとALTの2項目のみがまだ国際標準化ができていないため、今後IFCC法へと切り替わる時がくるかもしれません。

今回ご紹介した内容以外にも、「標準化」や「ハーモナイゼーション」の動きはあると思います。その際には、化学免疫検査研究班からも情報発信させていただきます。また、最新のトピックスだけではなく化学免疫検査や精度管理に関する基礎的な内容についても兵臨技研会でご覧いただけますので、みなさまのご参加をお待ちしております。

第3回

突撃！
となりの検査室

加古川中央市民病院

《所在地》〒675-8611 兵庫県加古川市加古川町本町439番地

●概要

施設名	加古川中央市民病院
病床数	600床
部署人数	技師/59人、その他/8人 男女比/1:5.2 経験年数/～5年目15人、～10年目8人、 11年目～36人
勤務体制	勤務時間/8:30～17:00 夜勤体制/当直2人体制
第三者認証	取得済み(ISO15189、輸血機能評価認定制度 (I&A制度))

●検査室で行っている検査領域

検体検査	採血、化学、免疫、血液、一般、微生物、遺伝子、輸血、病理
生理検査	心電図、呼吸機能、脳波、聴力検査、神経伝導速度、エコー(心臓、腹部、胎児、体表、血管)

●施設や検査室で力を入れている領域や特色、アピールポイントなど

検査領域	全分野
詳細	少数精鋭が基本コンセプトです。開院より技師数は増えてきましたが、分野を横断的に業務できるようにしています。採血は臨床検査技師のみで対応しており、全分野から当番制で行っています。T.A.T短縮にも注力しており、24時間止まらない検査室となっています。

●新人教育について

新人教育の進め方	入職後は半年をかけて各部門をローテーションし、業務内容に触れることから基本的な操作を学び、採血は必ず行えるように指導しています。半年後には配属先が決まり、当直のトレーニングを始めていきます。また、入職後数年は若手研修会に所属し、様々な活動を通じてコミュニケーションを深めていきます。 (西本 みなみ)
フレッシュな技師さんから一言	各部門のローテーションを終え、血液検査に配属になりました。現在は血液像の検鏡をトレーニング中です。採血業務もあり、手背や採りにくい患者さんの採血が出来た時はすごく達成感があります。早く戦力になれるよう、全力で頑張ります。

●採血室の状況

台数	6台	採血数/1日	503人
構成メンバー	技師6人、その他3人		

●検査領域

分野	検査機器	年間件数	備考欄
採血	BC-ROBO 8000RFID	122,113件	OGTT含む
化学	BM6070 2台	3,251,172件	A&T搬送システムに接続
免疫	HISCL5000 2台 CentaurXPT Imulite2000 コバエ411	467,247件	A&T搬送システムに接続
血液	XN-9000 CN5000 2台	626,256件	
一般	US3000、UF5000 PLEDIA、MT-6500	132,874件	
微生物	VITEK2 Blue XL バクテアラート3D	96,027件	
細胞免疫・遺伝子	IS5100(i-densy) TRC-Ready LoopampEXIA2台 GENECUBE GENECUBE modelC Navios	139件 SARS-CoV-2 核酸検査 25,885件 259件	造血器腫瘍・薬物代謝 TB・MAC SARS-Cov-2 mecA、CDトキソイド遺伝子、百日咳、マイコプラズマ 造血器腫瘍解析・造血幹細胞測定
輸血	IH-500	37,685件	
病理	BondIII Cell prepPLUS	20,111件	
心電図	FCP-9800 他	30,261件	LP心電図、運動負荷、ホルター解析(1,298件)含む
呼吸	System21・System7w モストグラフ 他	3,775件	
神経生理	EEG-1260(2台) MEB-2306 他	1,927件	
聴力	AA-78、AA-58	4,813件	健診含む
エコー	Vivid(3台) Aplio(4台) Affiniti(1台) Volson(産科)	心臓:9,953件 腹部:3,532件 体表:1,432件 血管:2,253件 胎児:1,442件	

●運用面での工夫など

生化学や免疫の主要な部分は搬送システムを組んでおり、当直時に少人数でも扱えるようにしています。検査システムも自動承認や再検ルートを駆使して、可能な限り自動再検を可能にしています。また、経過時間の長いものは優先的に検査を進められるように、分かりやすく表示するようにしています。検査室内の研修会や委員会活動が活発であり、何らかの活動に参加するようになっていきますので分野を超えてコミュニケーションが取れるようになっていきます。また、一人3業務に対応できるように取り組んでおり、担当業務以外の分野も応援体制を敷いています。

●主任技師長より、読者へ向けて一言よろしくお願いたします

2024年1月にISO15189認定を取得いたしました。今後も病院理念である「いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます」と、臨床に対して適時に正確な検査データと付加価値を提供することにより患者さん人生の様々な局面で信頼と安心感を与えることができるよう、日々邁進していきたいと考えています。





この看板が目印です

今回は「ナンバーファイブカフェ」をご紹介します。阪急塚口駅南口から徒歩5分、尼崎北警察署隣のビル2階にある、落ち着いた雰囲気のくつろげるカフェです。店内はテーブル席とソファ席で40席ほどあり、ランチタイムは平日休日問わず混雑している人気店です。隣の席との間隔が広めなので、お子様連れでもゆったり楽しい時間を過ごすことができます。

今回はランチタイムで一番人気のプレートランチをいただきました。ランチで来られたお客さんの7~8割は注文しているという人気のメニューです。この日の日替わりの肉料理は三元豚のロース肉低温ロースト、選べるソースはバーニャカウダソース(orハニーマスタードソース)、そしてかぼちゃのポタージュスープです。一皿にさまざまな料理が鮮やかに盛り付けられており、とてもワクワクする見た目です！思わず写真を撮りたくなる彩りの鮮やかさだけでなく、味もとても美味しく、二度楽しむことができます。柔らかいロース肉にバーニャカウダソースのアクセントが効いていて絶品でした。このボリュームでお値段がお手頃なのも嬉しいポイントです。

また、ドリンクでカフェラテを注文するとラテアートにしてくれる素敵なサービスも！混ぜてしまうのは勿体ない、とてもかわいいラテアートをいただくことができます。ぜひ足を運んだ際には注文してみてください。

お店の店主さんはとても気さくで、楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。皆様も塚口に立ち寄った際にはぜひ足を運んでみてください。

《店舗情報》

店名	ナンバーファイブカフェ		
住所	〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町2丁目13-18 リーガルビル2F		
T E L	06-6423-9875		
営業時間	11:00~22:00	FOOD (L.O.21:00)	DRINK (L.O.21:30)
定休日	火曜日・第2水曜日		



横谷 まなみ 会員
(関西労災病院)



かぼちゃのポタージュスープ



プレートランチ



Together for a better healthcare journey

シスメックスが提案するフローサイトメトリー検査



フローサイトメーター XF-1600 検体前処理装置 PS-10

フローサイトメーター XF-1600

医療機器届出番号:28B1X10014000009

検体前処理装置 PS-10

医療機器届出番号:28B1X10014000003

フローサイトメーター XF-1600、検体前処理装置 PS-10の両者をつなぐ専用ローターを用いることで、検体を並び替える煩雑な作業を省力化します。また、PS-10で読み取ったワークリストをXF-1600に転送することが可能であり、フローサイトメトリー検査の作業効率が向上します。



専用ローター

製造販売元
シスメックス株式会社
 本社 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073

(お問い合わせ先)
 支店 仙台 022-722-1710 北関東 048-600-3888 東京 03-5434-8550 名古屋 052-957-3821 大阪 06-6337-8300 広島 082-248-9070 福岡 092-687-5380
 営業所 札幌 011-700-1090 盛岡 019-654-3331 長野 0263-31-8180 新潟 025-243-6266 千葉 043-297-2701 横浜 045-640-5710 静岡 054-287-1707 金沢 076-221-9363
 京都 075-255-1871 神戸 078-251-5331 高松 087-823-5801 岡山 086-224-2605 鹿児島 099-222-2788
 日本東アジア地域本部 03-5434-8565

www.sysmex.co.jp



注：当該製品の適用範囲は規格により異なります。
 詳細は www.sysmex.com の ID 090589004 を参照。
 Note: Scope of use and activities vary depending on the standard.
 For details, refer to the ID 090589004 at www.sysmex.com

2023年8月作成

FUJIFILM

Value from Innovation

全項目反応時間 10分を実現

免疫検査は新たなステージへ



プロカルシニン

心疾患
マーカー

高血圧
関連

甲状腺
関連

腫瘍
マーカー

感染症

その他



自動化学発光酵素免疫分析装置 Accuraseed

特長

- 全項目反応時間 10分
- サンプル量 10μL~35μL
- 最大 24項目ランダムアクセス処理
- 処理能力 180テスト/時間
- モノテスト試薬

医療機器届出番号 27B3X00024000015

【製造販売元】
富士フイルム 和光純薬株式会社
 〒540-8605 大阪市中央区道修町三丁目1番2号

【問い合わせ先】
 臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
 Tel: 03-3270-9134(ダイヤルイン)